



サステナブルな未来へ 地球環境と私たちのライフスタイル

「サステナブル・ライフスタイル宣言2020」シンポジウム
WWFジャパン 古澤千明
2020年10月10日（土）

自己紹介

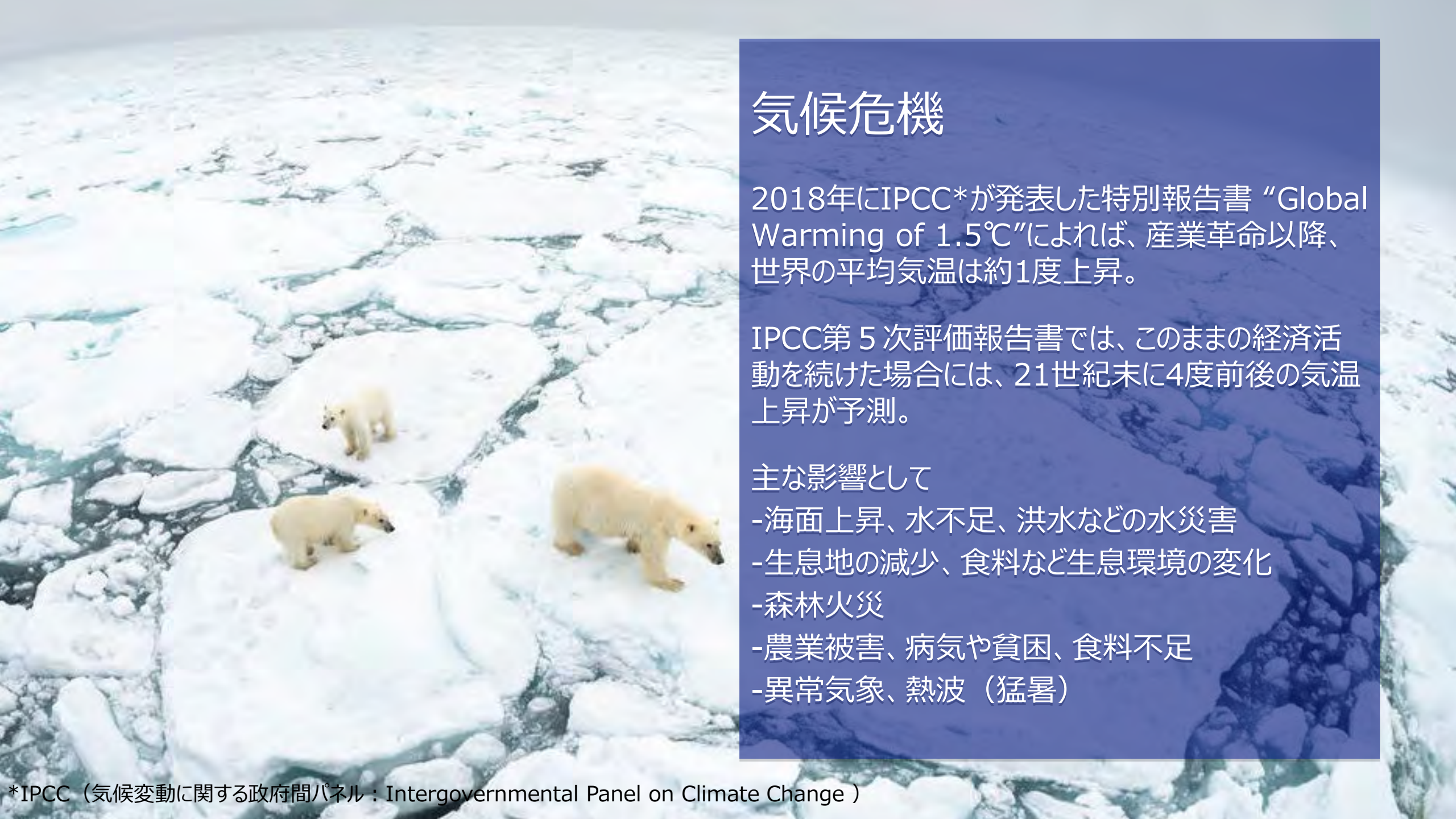
WWFジャパン 森林グループ 古澤千明



大学卒業後、民間企業での勤務を経てWWFジャパンに入局。

森林保全と持続可能な利用推進を担当。
主に東南アジアの森林生態系のなかで、日本市場との関係が深いコモディティについて、関係企業や消費者の意識向上に取り組んでいます。

インドネシアやミャンマーなど、生産国のWWFオフィスとも連携しながら、日本企業の調達改善、森林認証制度FSC®の普及などに携わっています。



気候危機

2018年にIPCC*が発表した特別報告書 “Global Warming of 1.5°C”によれば、産業革命以降、世界の平均気温は約1度上昇。

IPCC第5次評価報告書では、このままの経済活動を続けた場合には、21世紀末に4度前後の気温上昇が予測。

主な影響として

- 海面上昇、水不足、洪水などの水災害
- 生息地の減少、食料など生息環境の変化
- 森林火災
- 農業被害、病気や貧困、食料不足
- 異常気象、熱波（猛暑）

森林資源

国連（FAO）によるGlobal Forest Resources Assessment 2020

- 世界の森林面積（自然林＋人工林）
約40億ヘクタール（地球の陸地の面積の約1/3）

- 世界の自然林減少
1990年以降、4億2000万ヘクタールの森林が消失
直近の5年間も、年間約1000万ヘクタール（東京都の約45倍）が減少

- アマゾン、東南アジア、アフリカなどの
熱帯地域で急速な自然林減少

- 要因
森林火災、薪利用、農地・植林地拡大など

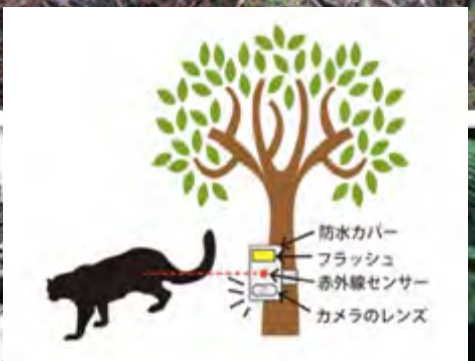
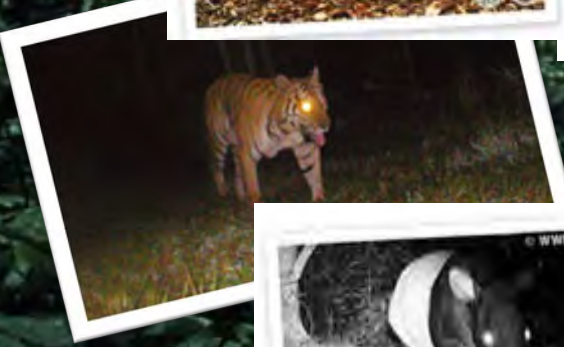


インドネシア スマトラ島
©Neil Ever Osborne / WWF-US



インドネシア スマトラ島
©Neil Ever Osborne / WWF-US





WORLD ON FIRE 森林火災

WHEN WILDFIRES SWEEPED THROUGH THE AMAZON AND AUSTRALIA, WWF MOBILIZED TO HELP PEOPLE AND WILDLIFE IN NEED.



自然林減少の主要因
農地・植林地の拡大

インドネシア スマトラ島
©WWFインドネシア



← 自然の森

事例：紙パルプ

自然林を大規模に破壊した後につくられる植林地（手前）、奥に広がるのが自然林。製紙原料用の広葉樹は5～7年で収穫される早生樹。こうした植林地は、自然の森の環境とは異なる。

日本の紙生産量は世界第3位、国民1人あたりの紙消費量も___kgと、世界平均を大きく上回る。

製紙原料用の植林地
（単一樹種）



インドネシア スマトラ島

©WWFインドネシア

事例：アブラヤシ（パーム油）

パーム油生産量は植物油のなかで世界最大、日本でも菜種油に続き、2 番目に消費量が多い。インドネシアとマレーシアの生産量が、世界の生産量の約85%を占める

Sungai Petani vicinity, Kedah, Malaysia

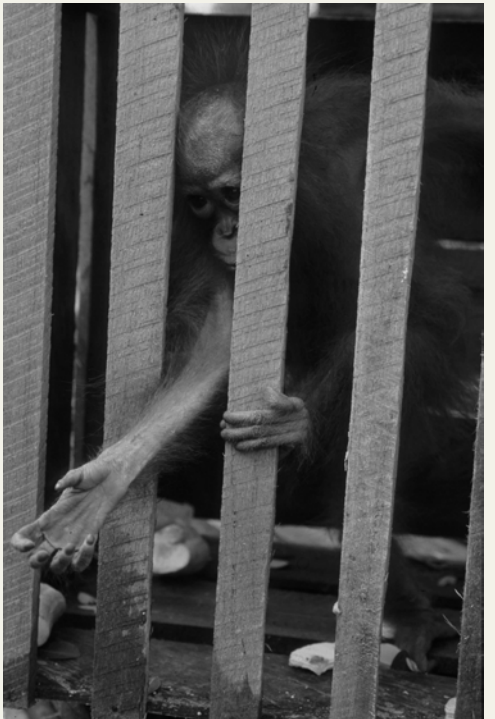
© naturepl.com / Tim Laman / WWF

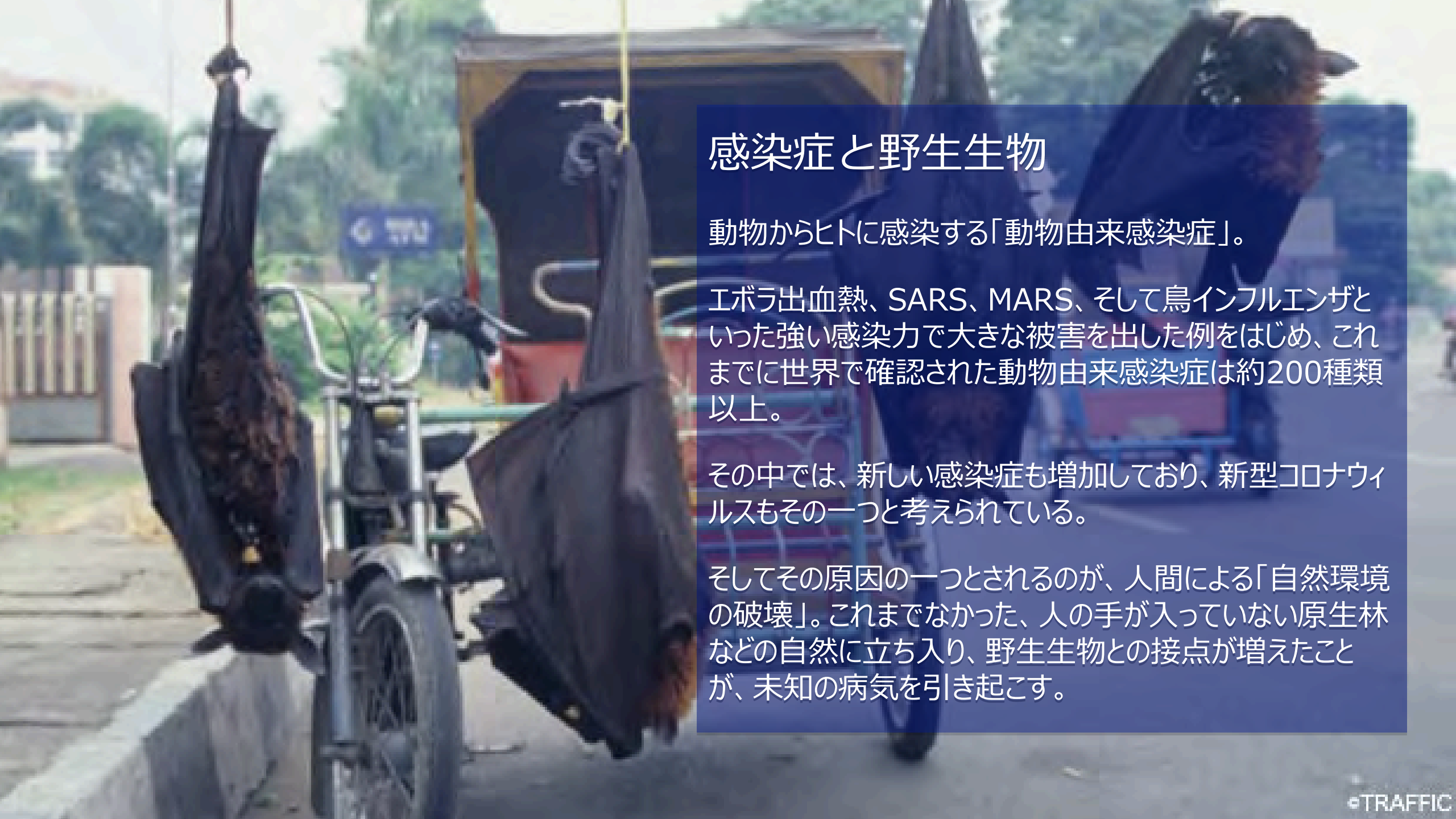
事例：天然ゴム

生産量の70%以上がタイヤ生産に利用される。特にメコン地域で、新規農園の開発による自然林破壊が懸念される。

ミャンマー東南部

©WWFミャンマー



A person is riding a bicycle on a paved street. Two large, black, closed umbrellas are attached to the sides of the bicycle, one on the left and one on the right. The person is wearing a dark jacket and a cap. In the background, there are trees, a fence, and a building. The scene is outdoors during the day.

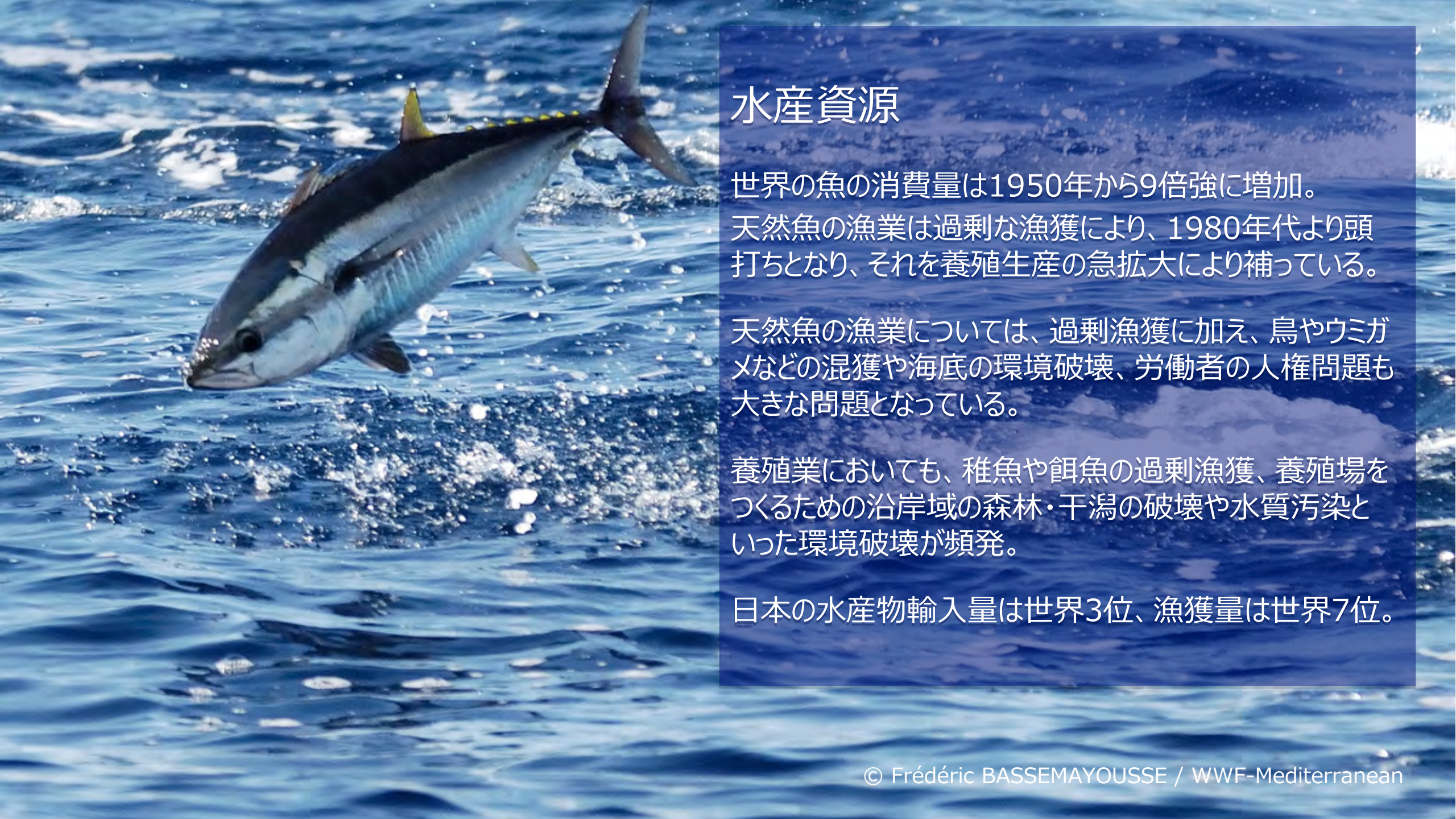
感染症と野生生物

動物からヒトに感染する「動物由来感染症」。

エボラ出血熱、SARS、MARS、そして鳥インフルエンザといった強い感染力で大きな被害を出した例をはじめ、これまでに世界で確認された動物由来感染症は約200種類以上。

その中では、新しい感染症も増加しており、新型コロナウイルスもその一つと考えられている。

そしてその原因の一つとされるのが、人間による「自然環境の破壊」。これまでなかった、人の手が入っていない原生林などの自然に立ち入り、野生生物との接点が増えたことが、未知の病気を引き起こす。



水産資源

世界の魚の消費量は1950年から9倍強に増加。
天然魚の漁業は過剰な漁獲により、1980年代より頭打ちとなり、それを養殖生産の急拡大により補っている。

天然魚の漁業については、過剰漁獲に加え、鳥やウミガメなどの混獲や海底の環境破壊、労働者の人権問題も大きな問題となっている。

養殖業においても、稚魚や餌魚の過剰漁獲、養殖場をつくるための沿岸域の森林・干潟の破壊や水質汚染といった環境破壊が頻発。

日本の水産物輸入量は世界3位、漁獲量は世界7位。

海洋プラスチック問題

世界の海洋に1.5億トンのプラスチックごみが存在し、さらに毎年800万トンが流入。このままでは2050年に海のプラスチックが魚の量を上回る。

流出したプラスチックは、半永久的に分解されることなく、マイクロプラスチックとして自然界に残り続ける。

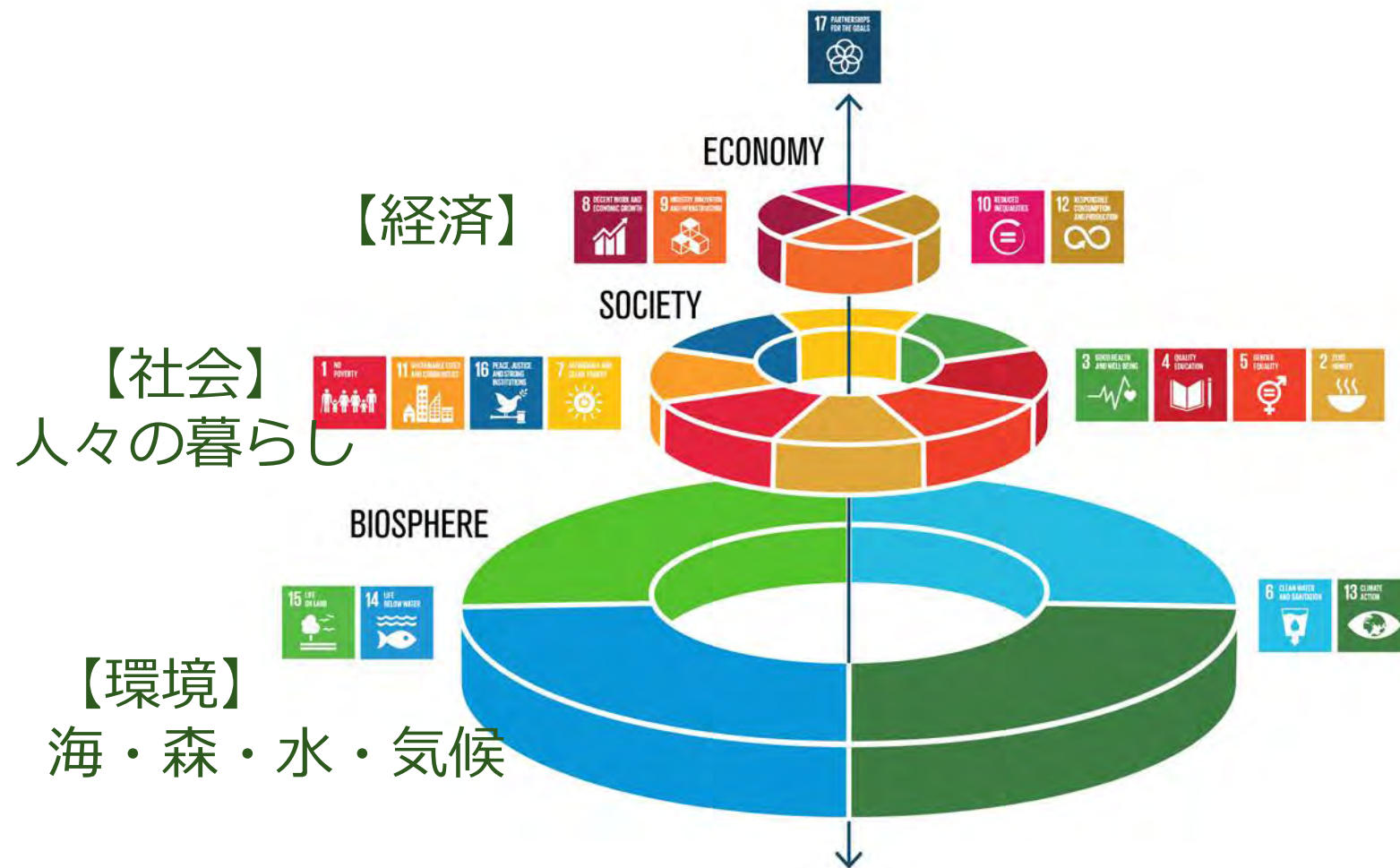
主要因として過剰生産と過剰利用があり、「使い捨て」される容器包装は、世界でも日本でも、プラスチックごみの約半分を占める。

日本のプラ生産量は世界第3位、1人当たりの容器包装に使われるプラごみ発生量は世界第2位。





サステナブルな未来へ 地球環境と私たちライフスタイル 私たちの日々の「選択」が、サステナブルな未来をつくる





サステナブルな未来へ 地球環境と私たちのライフスタイル さまざまな認証制度とラベル



責任ある森林管理
のマーク



ISEALは、認証制度とは異なる独立した立場にある国際組織で、さまざまな持続可能性における基準がISEALの定める“Codes of Good Practice”に合致しているか、オープンで、公平性、厳格さを保っているかなどが評価される。

*ISEAL: International Social and Environmental Accreditation and labeling
<https://www.isealalliance.org/>



サステナブルな未来へ 地球環境と私たちライフスタイル

森林認証制度 FSC (Forest Stewardship Council)

■ 1994年設立

■ 適切に管理された森林とそこから切り出された木材や加工のプロセスを第三者の評価で審査、認証することで

- ・ 森林を環境に配慮しながら、
- ・ 地域社会の利益にもかかない、
- ・ 経済的にも持続的

な形で管理・利用していくための原則と基準を設ける。



森を守るマーク

FSCの10の原則 70の基準



1

法律や国際的なルールを
守っていること



2

働く人の権利や安全が
守られていること



3

先住民族の権利を
尊重していること



4

地域社会を支え、
よい関係を築いていること



5

さまざまな森の恵みを活かし、
それらを絶やさないこと



6

豊かな森林の
自然環境を守ること



7

いろいろな意見を聞きながら、
森の管理を計画すること



8

森や管理の状態を、
定期的にチェックすること



9

環境や文化など、その森が持つ
大切な価値を守ること



10

環境に配慮した管理活動を
きちんと実施していること



地域社会を支え、
よい関係を築いていること



労働者と地域住民のために
建てた〇〇



豊かな森林の
自然環境を守ること



FSC認証林のなかにある
〇〇〇〇〇〇〇〇の巣

FSC認証林



ありがとうございました。

ご質問

サステナブル・ラベルのついた商品は近所のお店であまり見かけません。表示が見つけにくいところに印刷されているためと、商品が取り扱われていない（店頭にない）ためと思っています。

1) 商品パッケージの目立つところに表示してもらえますか？

2) お店においてもらうために、消費者側ができることとの実例があれば教えてください。

ご質問

サステナビリティを追求することで途上国の人件費にお金が回らなくなるという問題は生まれませんか？